

て克く忠實を盡しましたとさ。めでたし〜

蛙遊ひ

これは、女子高等師範の附屬幼稚園の子供等がやつて居るのを見ましたのですが、次の歌を歌つてやるのです。

お池の蛙は

くわっ~~~~~

何というてなく

くわっ~~~~~

雨ふれ〜とて

くわっ~~~~~

ふるまで鳴くのよ

くわっ~~~~~

(共益商社幼稚園唱歌)

先づ七八人の子供が輪を造つて丸くなると 二三人の子供が真中に這入る。週りの輪が池で、中の子供が 蛙なのです。そこで 週りの子供が 右か左かへぐる〜回轉りながら『お池の蛙は』と

歌ひ出すと 中の子供は こいで跳びながら、『くわっ~~~~~』と歌ふ、又週りの子供が『何といふて鳴く』と歌ふと、中で『くわっ~~~~~』と歌ふ、此通りにして 上の句を週りで歌へば 下の句を中で歌つて 廻ったり跳ねたりするのです。

考へもの

●前號の解

(一) 10-9=1=田

(二) くるま

●この次は

- (一) 十七を三分して魚の名一つ
- (二) 十一を二分して魚の名一つ

●英語の考へもの

- (一) 一瞬間には二つ顯はれ、一秒には一つ顯はれ一時間には一つも顯はれない英語の文字は何？
- (二) 二綴の英語で、次の綴は始の綴を日本語に譯して發音して居るのは、何？

●一口話し

田舎者が 馬を引張って、品川の方からやっ
て来て東京へ這入りかゝった所で、急に馬の顔に
厚布を引つかぶせると、馬は目が見えなから、
一歩も進まない、夫を無理に連れ様として騒いで
居ると、巡查さんが来て

巡「コラ〜何故馬の顔を隠して居る？」

田舎、へい〜江戸ではハ一生馬の眼を抜くといふ

こツてがすから」

家庭



子どもの讀み物

濱

子

私の友の一人は此頃こらいふ事を語りました。

私は小さい時から物を讀む事が好で、十才頃か
ら新聞の拾ひ讀みをはじめ、高等小學時代には
新聞狂雜誌狂など、家内であだ名され、新聞雜
誌は元より小説でも何でもかでも手當り次第に
讀みちらしました。兄が小説好で方々から、小
説本を借りて來るものですから、私もよほど澤